

# みんなのSOGI

「SOGI」とは多様な性的指向や性自認。私たちは毎月の定例会で、院内でのSOGI支援推進のために色々な議論を行っています。

vol.4

2024/8/1  
発行

答えが出ないことが多いですが  
私たちがどんな検討を行っているのかを定期的に  
ご報告いたします。

## 今回の議題

### 少しでも安心して受診頂くための院内の取り組み

昨年6月のチーム発足以降SOGIの観点から業務改善をしてきた取り組みの一部をご紹介いたします。



SOGI支援チームは、本学の「高知大学におけるSOGIの多様性に関する基本方針（令和4年1月27日制定）」に準拠し、当院内で以下の目的を達成するために活動しています。

研修、提言などの活動を通じて附属病院職員のSOGIへの理解を深めること

多様な性の在り方を持つ人々が苦痛なく安心して受診、治療を行うことができる院内環境づくりに資すること



性的マイノリティー、特にトランスジェンダーの方にとって、男女二つの性別で患者対応を行なう医療機関って、受診すること自体に不安を感じるという話を聞きます。

例えば、戸籍上は男性だけど、性自認が女性の方の場合など、男女どちらの病室に入院になるのか、お風呂やシャワーはどうなるのか。そもそもカルテには性別はどう書かれるのか。自分は男女どちらとして扱われるのか。自分の病気のこと以上に色々と心配されるようです。



医療機関によっては、不要な性別の表記をとりやめたり、ご本人が望む通称での対応を行なっていると聞きます。

とはいっても、医療を安全に提供する上で、生物学上の男女の区別が必要になる場合もあります。血液検査の正常値は性別で異なっています。また、疾患も男性だけがかかるもの、女性だけがかかるものがあります。性別記載をただ無くすということではなく、個人への配慮と、医療の安全性とのバランスを考えていく必要があります。



色々と取り組むべきことが多そうです。当院の場合は、性別情報が電子カルテや診療請求のシステムにも連動していますから、簡単には変更できません。不安がある方には名乗り出もらって個別対応するしかないのでは。

申し出しやすい窓口の設置も大事ですが、名乗りたくない人もいるでしょう。まずは、今できることから始めませんか。性別が必要ない書類から性別の表記をなくす、性別で分ける必要がない設備などは共通で使えるようにするとか。



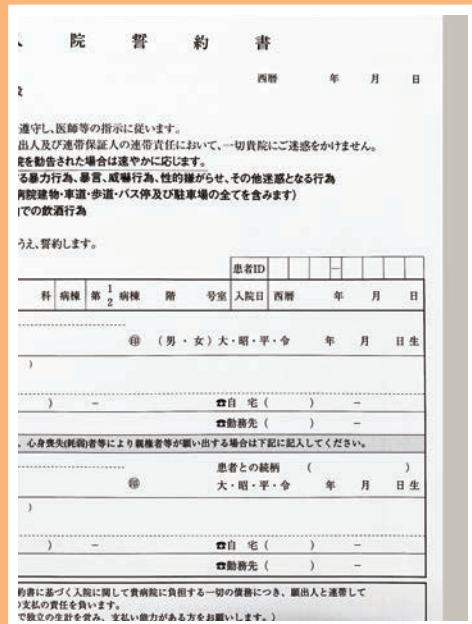
院内でどんな書類に性別が記載されているのか。そこからまずはチェックしていきましょうか。

## その後

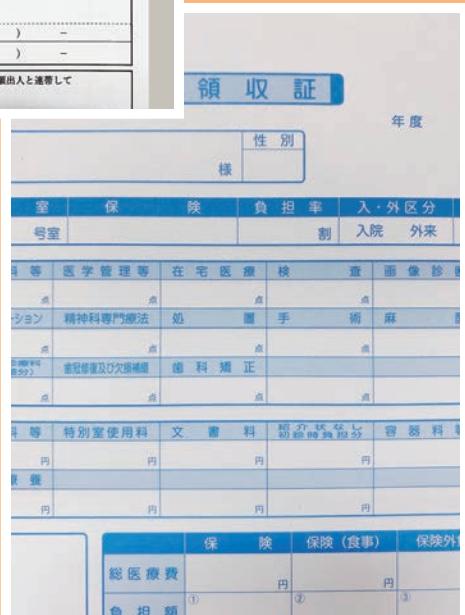
当院で患者さんが医療提供受けるためには、多くの書類を書く必要があります。チーム内での検討後、男女表記や男女区別の取りやめを決めたこと、まだ残っている課題や検討継続中のことは以下のとおりです。

### 男女表記や男女区別の取りやめを決めたこと

具体的には診療申込書から始まり、問診や誓約書、同意書など診療が進むにつれ書くものが増えていきます。個人の誤認などがないように氏名だけでなく、生年月日、住所などに加え、性別も多くの書類で記載を求めています。できるだけ性別記載の機会が減らせるように、性別を必要としない書類から性別記載を削除する検討を行ないました。その結果、患者さん自身に携帯いただく診察券、患者基本票などからも性別記載を削除することを決めました。また、本年10月から病衣の男女の色分けを廃止することになりました。



入院誓約書



領収証

チームでは、色々な部署からのご相談をお待ちしています。  
みんなが過ごしやすい病院になるように一緒に考えていきましょう。

## 高知大学医学部附属病院 SOGI支援チーム

問い合わせ先 E-mail: sogi-kms@kochi-u.ac.jp

### まだ残っている課題・検討継続中のこと

ただ、すでに業者に依頼して印刷してもらった書類はその在庫を使い終わるまでは切り替えができず、システム改修が必要なものは病院全体での改修のタイミングを待つ必要があり、改善しようと思ってもすぐには難しいことが多いと気づかされました。レセプト(診療報酬明細書)の請求上、性別把握は今後も必要となるため、今のところ当院では医療保険に記載されている性別を確認することになっています。ただ、性別はこれ以外にも戸籍上の性別、生物学上の性別、ご本人が希望する性別などがあり、特にご自身が希望する性別をどのように取り扱うのか、当院の患者管理のシステムにどう組み込めるのか、まだ結論が出ていません。また、患者さんが戸籍上の氏名ではなく、通称(ご自身が望む呼び方)で呼ばれることを希望した際の対応方法はまだ確立していません。今後更なる検討が必要となっています。



診察券



病衣

### 編集後記

性的少数者の方が受診しやすい医療機関になるためには、これまで長らく当り前と思っていた当院のシステムを、細かく点検改修していく必要があります。安全面と費用面での吟味も必要で、思いついたことをすぐ改善できるわけでもありません。出来ていないことを考えると、「SOGIに取り組んでいる病院です」なんてとても言えない気分になりますが、仲間を増やしつつ、少しずつでも前進していきたいと思います。皆さんの職場で、患者さんが苦痛なく診療を受けられるために何か工夫出来ることがないでしょうか。何か気になることがあればチームまでお声かけください。当チームでは皆様のご意見をお待ちしています。そして、ぜひチームの仲間になってください。よろしくお願ひいたします。